

厚生労働科学研究費補助金（認知症対策総合事業）  
分担研究報告書

救命救急センターに搬送された認知症患者の現状

研究分担者 上村 恵一 市立札幌病院 精神医療センター 副医長

研究協力者 菊地未紗子 市立札幌病院 精神医療センター

研究要旨 2030年、我が国はどの国も経験したことのない高齢者の急増が進むだけでなく、未婚や離別による単身世帯の急増によって極めて多くの中高年の単身者が、都市部にあふれる時代が来ると言われている。昨年行った調査で、当院の救命救急センターに搬送される自殺企図患者のうち、既遂例の17%、未遂例の8%が認知症であり、当院精神科救急合併症入院病棟に入院となった患者の9%程度が認知症の診断を有していた。今後、本邦では認知症患者が急増し、急性期病院から一般療養病院への移行や、病院から在宅への移行が困難になっていくことが指摘されている。しかし、身体疾患重症度が極めて高い認知症患者が、急性期病院のどの過程で在宅移行の支障となっているかを把握した研究はない。そこで、救命救急センターに入院する重症身体疾患に併発した認知症患者の急性期病院での動向について把握することを目的に本研究を実施した。

A. 研究目的

今後、本邦では認知症患者が急増し、急性期病院から一般療養病院への移行や、病院から在宅への移行が困難になっていくことが指摘されているが、身体疾患重症度が極めて高い認知症患者が、急性期病院のどの過程で在宅移行の支障となっているかを把握した研究はない。そこで、救命救急センターに入院する重症身体疾患に併発した認知症患者の急性期病院での動向について把握することを目的に本研究を実施した。

B. 研究方法

平成24年4月から平成26年3月に当院救命救急センターに入院し、精神科にコンサルトされた患者371名のうち認知症と診断されていた、もしくは入院後認知症と診断された患者52名について診療録を後方視的に調査を行った。

なお、当院では、DLB MaKeith IG,2005の診断基準を用い、その他の認知症はDSM-の診断基準に基づき診断している。

調査した患者背景は、年齢、性別、身体科診断、精神科診断、入院日数、入院後転帰について調査を行った。

(倫理面への配慮)

個人が特定されないような個人IDとは異なる連結不可能な乱数IDにて第三者が情報を管理した。本研究は当院倫理委員会の承認を得ている。

C. 研究結果

自殺企図認知症患者の62%がDLBであった。認知症患者の精神科への介入は、せん妄の発症時と、自殺企図症例が約9割をしめていた。

救命救急センター平均在所日数は $34 \pm 106$ 日で、その後、当科転科が13%、当院他科転科が38%であった。当科転科後と他科転科後入院平均日数に有意な差は認めなかった。

D. 考察

高橋らは55人のレビー小体型認知症患者(50歳以上)の初期診断名を調べた結果、うつ病が46%と最多で最初から正しく診断された人は、22%のみだったと報告している。また、水上らは罪業妄想や希死念慮を訴えるDLB患者は少なくなく、抑うつ症状の他にさまざまな精神症状が同時にみられる可能性が示唆

されると報告している。このことから、特に DLB 患者は自殺企図へ繋がる頻度が高く、希死念慮に対しては、家や周囲からの注意深い観察と早期受診が勧奨されると考えられる。また今回の結果において、当科転科と他科転科後入院平均日数に優位な差は認めなかった。この結果から認知症に伴う「精神症状」が問題で在院日数が長くなっているわけではなく、「身体疾患」重症例が在院日数を長くしている可能性が考えられ、疾患による在院日数の違いはない可能性が示唆された。このことから身体治療を優先する病棟において精神科医のリエゾン 介入を密に在宅以降を支援することが望まれる。

1. 特許取得  
なし。
2. 実用新案登録  
なし。
3. その他  
特記すべきことなし。

#### E. 結論

認知症、特に DLB 患者への自殺企図へは事前に注意を喚起していくこと、また正確な診断を早期に考慮できることが必要であると考ええる。

また、身体重症度の高い認知症患者は精神症状の対応に苦慮して在院日数が長くなるのではなく、身体治療を優先する病棟における在宅支援に時間を要することで在院日数が長くなっている可能性がある。

今後は、救命救急センター入院時から調査できる前向き観察研究を行い、在宅支援に必要な資源についてさらに検討を続けたい。

#### F. 健康危険情報

特記すべきことなし

#### G. 研究発表

##### 論文発表

1. 上村 恵一. 終末期せん妄 終末期における治療抵抗性のせん妄への対応、精神科治療学 29(4):495-500.2014.

##### 学会発表

1. 上村恵一：公立総合病院における精神科救急合併症病棟の役割. 第 22 回 日本精神科救急学会学術総会. 旭川市. 2014/9/6, シンポジウム

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)